

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来 三河安城		
○保護者評価実施期間	2025年10月9日 ～ 2025年10月23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年10月9日 ～ 2025年10月23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月9日 ～ 2025年10月23日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が必要な知識や技術をもち、子どもを理解し支援ができることを基本に、学校など訪問先の現状に合わせて訪問支援での支援を行うことができる。	訪問員が子どもの理解・場面に合わせた対応ができるように学びを継続している。 訪問時に対象の子どもだけでなくクラス・学校の全体的な様子を評価し、その環境の中で対象児に対してできる支援を考えるようにしている。	訪問支援の取り組みに関する情報はまだ少ないが、訪問支援を行う他事業所などの取り組みから学ぶ機会を増やしていきたい。
2	継続した訪問を行うことで、担任の先生だけでなく教頭先生など学校内のいろいろな先生とのつながりをもち、情報を共有することができる。	学校内のいろいろな先生方に理解していただけるようになってきて嬉しく思っている。訪問支援の有効性や子どもが安心して学校に通える、という目的を丁寧にお伝えして、協力していきたい。	いつもお忙しい中で時間を作っていただいている。いただいた時間をより有効に活用できるように訪問の質を向上させていきたい。
3	訪問後には報告書を作成し、保護者様・訪問先と訪問支援の内容を再確認する他、保護者様とは電話や対面にて学校の様子をお伝えし安心して利用してもらうことができた。	訪問時に伝えた内容をよりわかりやすく、また必要に応じて補足することで訪問先で支援の取り組みが行われるように考え報告書を作成している。 保護者の方と丁寧にお話をし、学校の様子だけでなく家庭での様子を聞き取り、課題や本人の困り感に対して、学校だけでなく家庭・事業所での取り組みについても一緒に検討するようにしている。	丁寧に報告書を作成するために訪問後に時間を要してしまうことがある。効果的でありつつ効率的に作成を進められるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多忙な訪問先の先生とゆっくり時間をとって対話を進めることが難しい。	放課の時間の一部をいただいておりますが、十分な時間を確保することが難しい。	必要なやりとりをする時間を確保できるように無理のない範囲で協力をお願いしたり、放課後の時間などの活用も考えていきたい。
2	訪問員の育成	教育や保育の専門家である訪問先の先生方に発達支援の専門的立場から協力をお願いするという特性上、十分な知識・経験などを求められるため、それらを習得するのに時間がかかる。	日々の業務の中で経験を積みながら、研修や実践を重ねて時間をかけて育成していく必要がある。
3			